

動物の診察室から

○ 72 ○

新潟市では、3月15日から東日本大震災の被災者の避難所が開設され、福島などからの被災者の方々の受け入れが始まりました。

そして、避難されてきた方の中には、ペットを連れてきている方もいます。

3月16日の午後、新潟市で開設されていた避難所2カ所で、行政によりペットの状況の確認が

福島から、ペットと一緒に避難してきても、新潟市ではペットと一緒に避難所の中には入れてもらえなかったのです。でもそれは、ペットのアレルギーがある方や、鳴き声などの問題もあり仕方がないことかもしれませ



避難所に入れなかったわんちゃん

# みんなと一緒にが何より

## もしもの時、動物たちは

できないのです。今回の避難所では、幸いにも初動の段階で、避難所でのペットの対応が行われま

た。県の対応部署も、各地で動物の受け入れをできる避難所を1カ所は設置する方針で、対応を進めていますので、避難所にペットが入れないところも、改善がなされると思

行われました。私たちが避難所を見て回りました。産業振興センターでは、ペットは避難所の中へは入れずに、ほとんどが車の中にいました。

もう一つの避難所である新潟市体育館では、入り口ホールの階段の下に、ケージに入って数頭の犬が置かれています。

そんな中、新潟市は、状況の確認後すぐに、避難所の一角を、ペットを置く場所として用意して、そこで飼い主の方が自主管理でペットの世話ができて、そばにいられるようにする方針を決めました。避難所によって、室内テニスコートやペットの専用スペースにし

たり、新発田市の避難所にはプレハブを建て、その中で動物たちが暮らしたりしています。

もし新潟市で大きな地震があったらどうなるのでしょうか。

新潟市にはたくさんのマンションがあります。マンションは倒壊しなくても、電気、水道が止まっただけでそこにいら

なくなるのです。3階以上にエレベーターを使わないで、水や食料を運ぶことはできません。マンション協会の駐車場でも、中にも怖くてできないのです。中には、ペットを飼っている方もたくさんいます。避難所には、多くの方がペットを連れて来ることが予想されます。

確かに非常事態の時は、何よりも人が優先です。でも、家族と同じでペットを置いてくることなど

は、もちろん、みんなと一緒にが、動物たちはどこに行くのでしょうか。